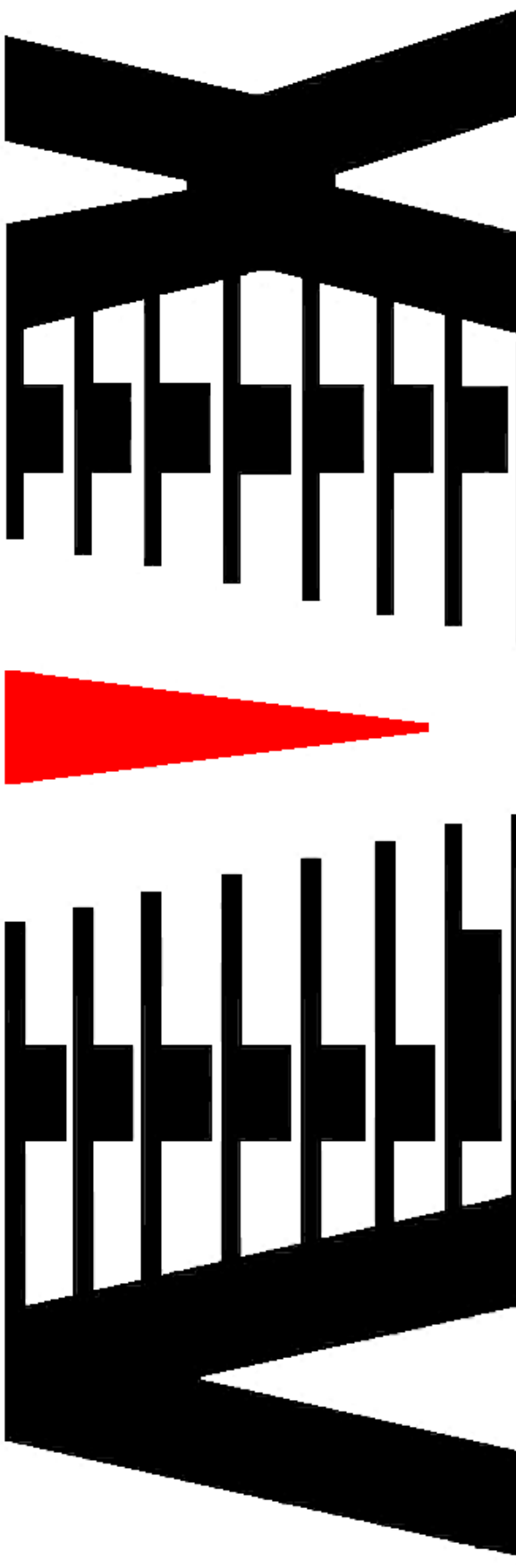
“アルビクス”　VA ERROR DETECTION UNIT

VAD−311

取扱説明書

Ver. 1. 0



御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、安全の為の指示に従って下さい。
もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

目　次

注意事項　・・・・・　２
１．主な機能と特長　・・・・・　３
２．仕様　・・・・・　４
３．各部の名称と機能　・・・・・　５
４．接続方法　・・・・・　８
５．ＩＰアドレスの設定　・・・・・　９

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

警告

◇　内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。
（火災や感電、故障の原因となります。）

◇　煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

◇　電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇　電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。
（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）

◇　電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇　仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。
（火災や感電の原因となります。）

お願い

◇　風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。
（故障の原因となります。）

◇　次の様な所には置かないで下さい。
湿気の多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く
埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所
安定しない台の上、傾いた所
（故障の原因となります。）

１．主な機能と特長

１．１　ＶＡＤ－３１１の特長

◇ ＨＤ－ＳＤＩ／ＳＤ－ＳＤＩ映像（ＳＤＩエンベデッドオーディオを含む）のエラーを検出し、エラー内容をＳＮＭＰエージェントにより外部に通知します。

◇ 映像／音声のエラーを検出する際、エラーと判断するしきい値は外部からＳＮＭＰ経由で任意に設定可能です。
設定値は内部でバックアップされ、電源を切断しても保持されます。

２．仕様

◆ＳＤＩ映像・音声入力信号
　入力信号数　：１系統
　信号形式　　：映像　：ＳＤ－ＳＤＩ SMPTE 259M-C（480i）
　　ＨＤ－ＳＤＩ SMPTE292M　（1080i）
　　：音声（SDI エンベデッドオーディオ）：
　　48KHz/16bit/４ｃｈ（SD-SDI）
　　48KHz/16bit/８ｃｈ（HD-SDI）
　入力接栓　　：ＢＮＣコネクタ

◆外部通知
　通信仕様　　：100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インタフェース
　プロトコル　：ＳＮＭＰ V2
　コネクタ　　：ＲＪ－４５モジュラ

◆外形寸法　　：Ｗ２１５ × Ｈ４４ × Ｄ４９０ mm
　（１Ｕハーフサイズ）

◆質　　量　　：約 ３ ｋｇ

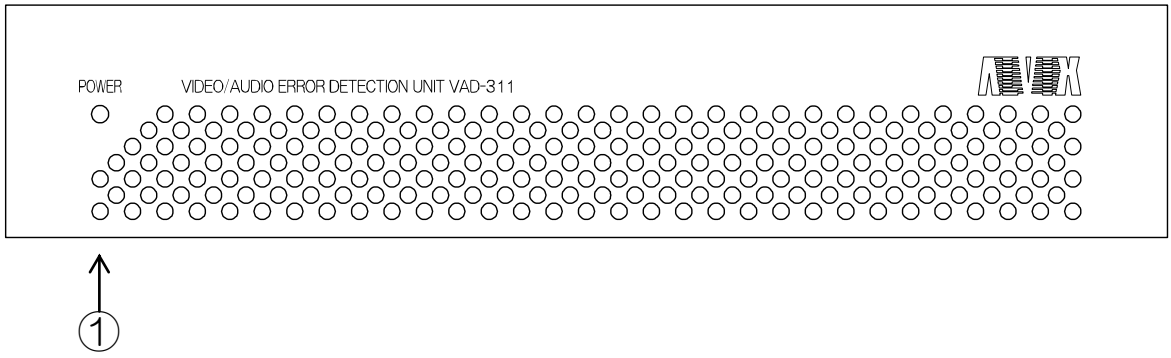
◆電源電圧　　：１００Ｖ±１０％　ＡＣ　５０／６０Ｈｚ

◆消費電力　　：約 ２５ Ｗ

◆使用温度　　：５℃　～　４０℃

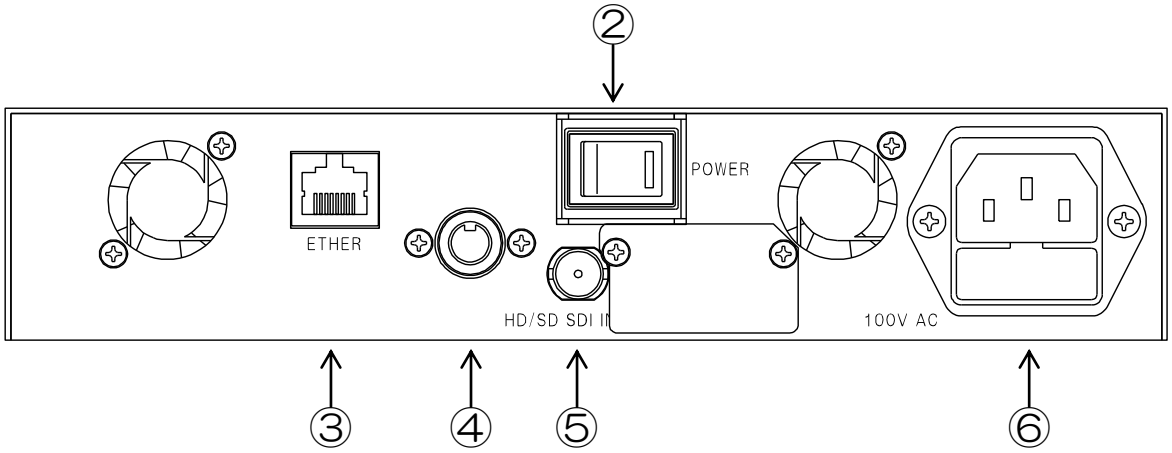
3．各部の名称と機能

＜筐体フロントパネルの機能＞



1．ＰＯＷＥＲ
電源ＬＥＤです。

＜筐体リアパネルの機能＞



2．ＰＯＷＥＲ
電源スイッチです。電源が投入されるとＬＥＤが点灯します。

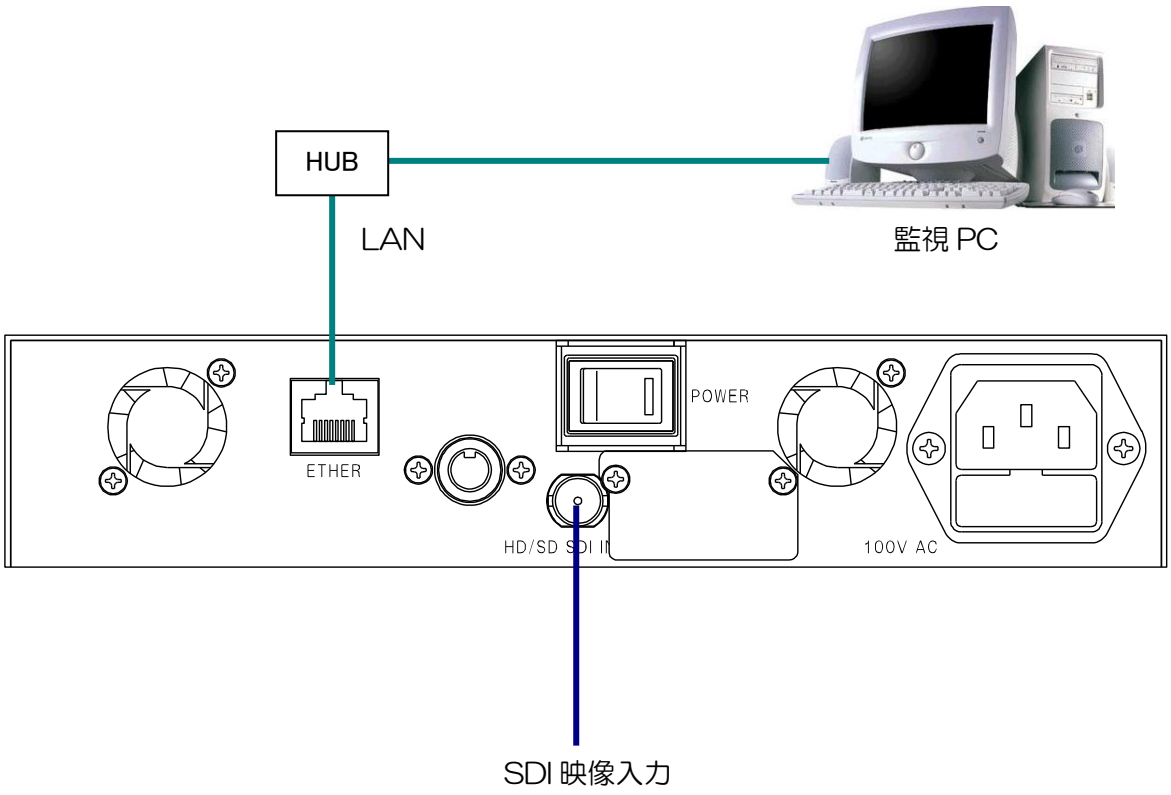
3．ＥＴＨＥＲ
１００ＢＡＳＥ－ＴＸ／１０ＢＡＳＥ－Ｔ対応のＬＡＮコネクタです。
外部 PC との SNMP 通信に使用します。

4．メンテナンスコネクタ
通常使用しません。キャップを取り外さないで下さい。

5．HD／SD-SDＩ ＩＮＰＵＴ
ＳＤＩ映像入力コネクタです。
映像機器のＳＤＩ信号出力と接続します。

6．１００Ｖ ＡＣ
AC 入力(3P インレット)です。

4. 接続方法



５．ＩＰアドレスの設定

５．１．エラー検出装置のＩＰアドレスの設定

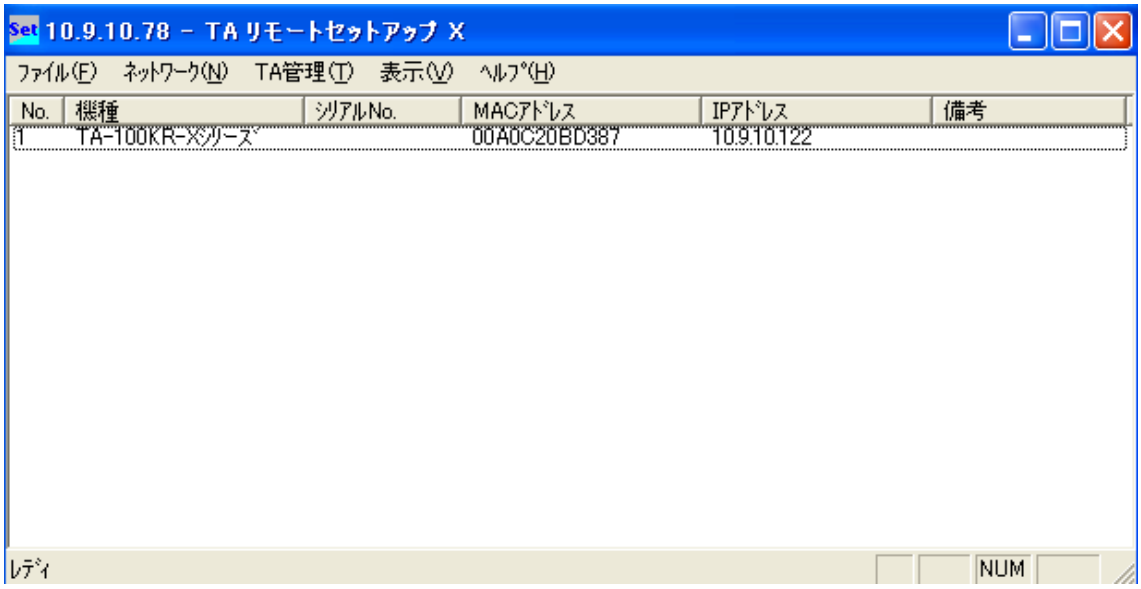
エラー検出装置のＩＰアドレスは、専用ツール”TASetupX”で変更します。

・エラー検出装置と Windows PC を、LAN 経由
（HUB 経由またはクロスケーブル直結）で接続します。

・Windows PC 上で“TASetupX.exe”を起動します。

※ PC の OS が WindowsXP サービスパック２以降／WindowsVista の場合は、
ソフトの起動前に Windows ファイヤーウォールを無効に設定して下さい。
Windows ファイヤーウォールが有効の場合、設定が正しく出来ない場合があります。

・ [TA 管理]->[その他の検索]->[リフレッシュ検索]を実行すると、
接続されている検出装置の IP アドレスが下記のように表示されます。



（上記のアドレス表記は一例です。実際の製品のアドレスは上記とは異なります）

・表示された IP アドレスの行をクリックし、[TA 管理]->[設定取得]を
選択すると、下記の画面（以下「設定取得画面」と表記）が表示されます。

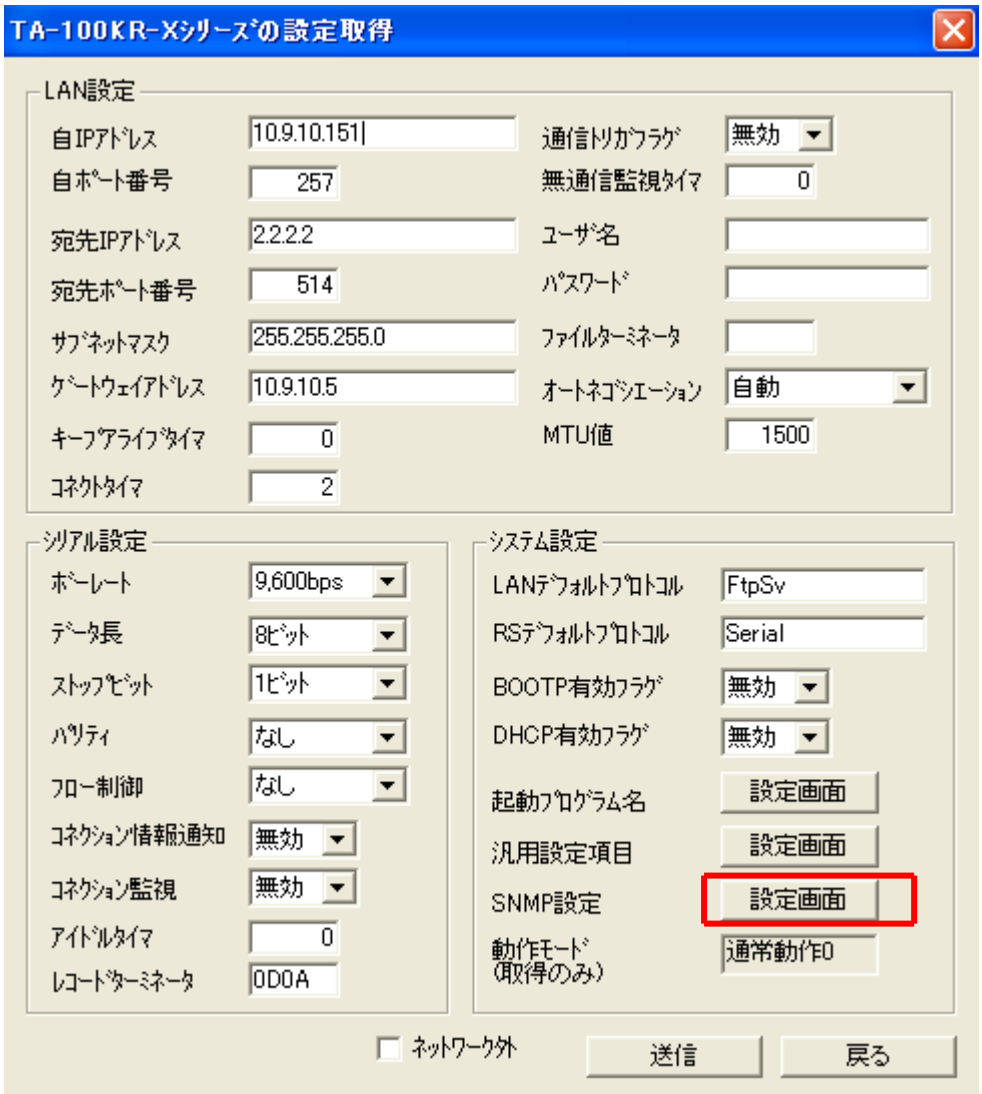
（上記のアドレス表記は一例です。実際の製品のアドレスは上記とは異なります）

・［自 IP アドレス］欄（上記画面の赤枠部分）の IP アドレスを変更し、
「送信」ボタンをクリックします。
この時、［自 IP アドレス］以外の項目は絶対に変更を行わないで下さい。
（エラー検出装置が正常に動作しなくなります）

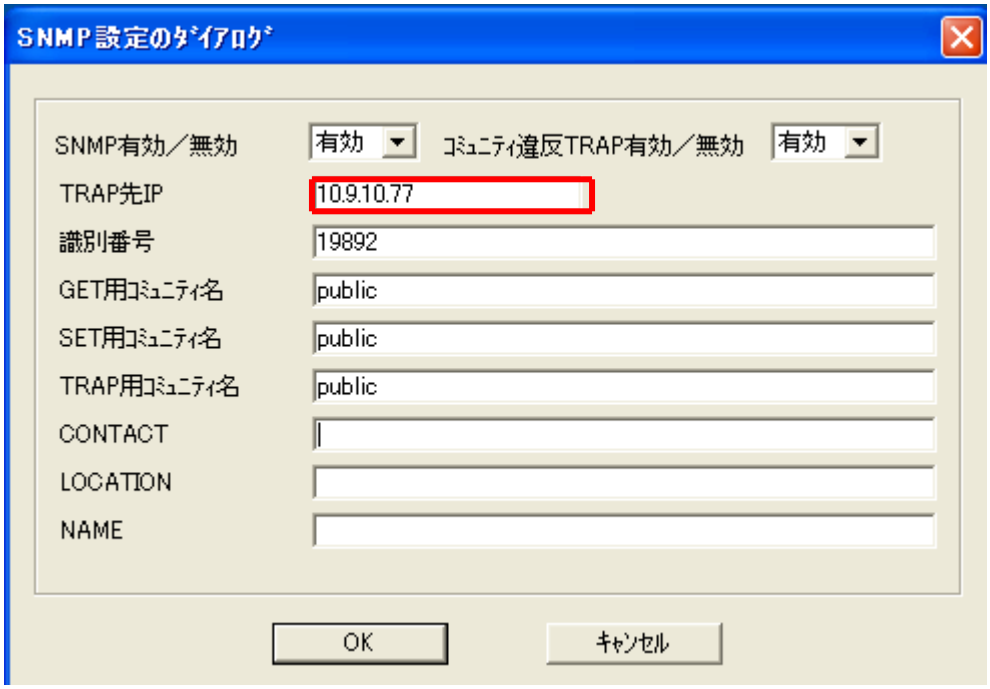
5．2．Ｔｒａｐ先ＩＰアドレスの設定

・前項と同様の手順で、設定取得画面を表示します。

・設定取得画面で「SNMP 設定」ボタン（下記画面の赤枠部分）をクリックします。



・「SNMP 設定」ボタンをクリック後に下記の画面が表示されます。



※上記の Trap 先 IP の表記は一例です。実際の製品の Trap 先 IP は上記とは異なります。
また、GET/SET/TRAP 用コミュニティ名は、上記画面の表記とは異なる場合があります。

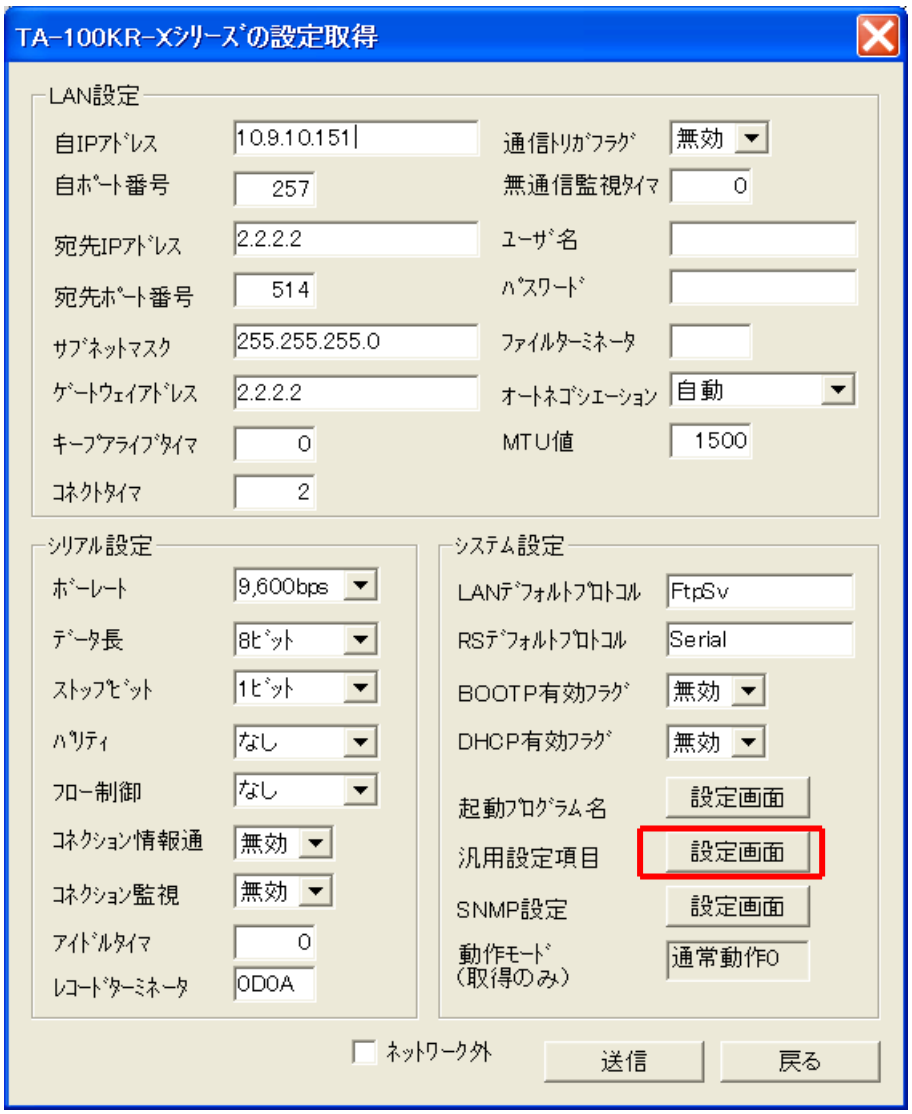
・　［TRAP 先 IP］欄（上記画面の赤枠部分）の
IP アドレスを変更して「OK」ボタンをクリックします。
この時、［TRAP 先 IP］以外の項目は絶対に変更を行わないで下さい。
（エラー検出装置が正常に動作しなくなります）

・SNMP 設定画面がクリアされて設定取得画面に戻った後、
設定取得画面の「送信」ボタンをクリックします。

５．３．複数個のＴｒａｐ先ＩＰアドレスの設定

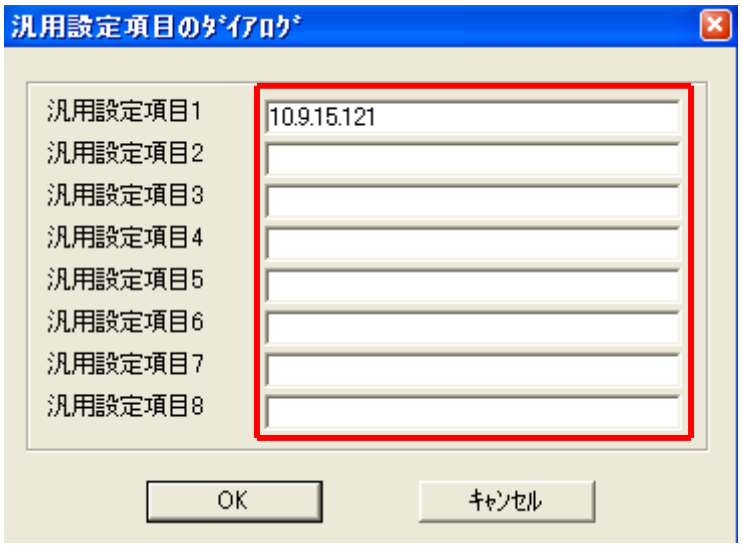
※複数個のＴｒａｐ先ＩＰアドレスを設定する場合は、必ず前項で
最初の１個目のＴｒａｐ先を設定して下さい。
前項での設定を行わずに本項目のみ設定を行った場合は正常に動作しません。

・前項と同様の手順で、設定取得画面を表示します。



・設定取得画面で「汎用設定項目」[設定画面]ボタン（赤枠部分）をクリックします。

・「汎用設定項目」ボタンをクリック後に下記の画面が表示されます。



・[汎用設定項目１～８]（上記画面の赤枠部分）を変更し、[ＯＫ]をクリックします。
　Ｔｒａｐ先ＩＰアドレスは最大で８箇所まで設定が可能です。
　本項目の設定を行う事によって、前項で設定した最初の１個目のＴｒａｐ先と合わせて
　計９箇所までＴｒａｐを送信可能です。

・設定取得画面に戻った後、設定取得画面の「送信」ボタンをクリックします。

５．４．ＩＰアドレス／Ｔｒａｐ先変更後のＶＡＤ再起動

・ＶＡＤの筐体電源を一旦切断して再度投入します。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

ＴＥＬ
担　当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒９５９－０２１４
新潟県燕市吉田法花堂１９７４－１
ＴＥＬ：０２５６－９３－５０３５
ＦＡＸ：０２５６－９３－５０３８